

広報

my hometown TOMIOKA 2013

# とみおか

7  
No.609



## 主な目次 Contents

要望活動	02
お知らせ	06~09
とみおか桜通信	10~15
こんにちは。大玉診療所です！	16
とびっくす	18~20

# 組織機構が変わります。 7月1日から役場の組織機構が変わりましたので、お知らせします。

● 総務課総務係

## 富岡町行政機構図

※濃い青色 ■ が新設された課です。



## 国へ復興に関する要望書を提出



根本匠復興大臣に要望書を手渡す遠藤町長と町議会議員

遠藤町長が5月23日、町議会議員11人と共に上京し、復興に関する要望活動を行いました。

国会開催中ということもあり、時間が確約されていない中での訪問となりましたが、一行は根本匠復興大臣を始めとする関係大臣と面談。要望書を手渡し、迅速な対応を強く訴えました。

## 復興に関する要望書

福島第一原子力発電所の事故発生から2年以上経過いたしました但未だ事故は収束せず、この未曾有の原子力災害は、富岡町民はもとより、福島県全域に甚大な損害を生じさせております。

当町においては、本年3月25日をもって警戒区域を解除し、避難指示区域の見直しを行っております。しかしながら、今なお全町民が避難生活を余儀なくされており、生活再建の見通しが立たないなかで毎日不安な生活を送り、精神的にも肉体的にも疲労は極限に達するなど極めて厳しい状況下におかれております。

このため、町民の総意として、下記事項について、国の責任のもと実現いただくよう、強く要望します。

記

1. 避難指示区域見直しに伴う賠償を迅速かつ確実に実施すること。
2. 長期避難に対する支援を継続すること。
3. 国の責任において町内全域の除染を早急かつ確実に実施すること。
4. 避難指示区域見直しに伴う生活環境整備を国の責任において早期に実施すること。
5. 帰還に向けて、雇用の創出・産業の復興計画を早期に示すこと。
6. 旧警戒区域内住民に対して見舞金を支払うこと。
7. 避難者のための災害公営住宅を迅速かつ十分に整備し、家賃の減免を実施すること。
8. 立入り等に伴う放射線管理に対する対策の充実を図ること。
9. 避難指示区域の見直しに伴う防犯・防火体制の強化を支援すること。
10. JR常磐線 広野～原ノ町間を早急に復旧すること。
11. 被災者生活再建支援制度の見直しを実施すること。  
・制度の申請期間が平成26年4月までとなっているが、警戒区域により家屋調査等が遅延しているため申請期間を延長すること。  
・対象区分の「長期避難」には、原子力発電所事故による長期避難者もふくめること。  
・被災者が町内外に帰還する場合、事故を起因とする新たな経費や心の負担等への支援制度を確立すること。
12. 復旧・復興に向けた自治体への人的支援を図ること。  
・旧警戒区域であったため、復旧、復興は他の地域に比して大きく遅れ、生活関連施設や医療施設、企業の復旧・再開や新規企業の誘致等、山積する事務事業の執行等に関わる自治体職員の不足が生じており、特に技術職の不足は深刻であることから、国による当該職員の派遣支援を行うこと。

# 7月21日(日)は 富岡町長選挙・富岡町議会議員補欠選挙・ 参議院議員通常選挙の投票日です 棄権しないで投票しましょう

富岡町選挙管理委員会  
☎0120-33-6466

## 投票できる人

- 次の条件に該当し、富岡町の選挙人名簿に登録されている方が投票できます。
- ① 日本国民である方
  - ② 満20歳以上の方(平成5年7月22日までに生まれた方)
  - ③ 平成25年4月3日までに富岡町に転入届を出し、引き続き富岡町に住所を有している方

## 投票日当日(7月21日)の投票所および投票時間

投票所	場所	投票時間
富岡町役場郡山事務所 第二会議室	郡山市大槻町西ノ宮 40-3	午前7時～ 午後6時
いわき建設会館 三階会議室	いわき市平字童子町 4-18	午前7時～ 午後5時
泉玉露応急仮設住宅 第二集会所	いわき市泉玉露2-10-1	午前7時～ 午後5時
福島県文化センター 一階会議室	福島市春日町5-54	午前7時～ 午後5時

## 期日前投票制度をご利用ください

投票日に用事があり投票できない方は期日前投票ができます。  
期日前投票所によって、投票できる期間・時間帯が異なりますのでご注意ください。

期日前投票所	期間	時間
富岡町役場郡山事務所第二会議室 (郡山市大槻町西ノ宮40-3)	7月5日(金)～20日(土)	午前8時30分～午後8時
南一丁目応急仮設住宅集会所 (郡山市南1-94)	7月13日(土)	午前11時～午後7時
富岡町若宮前応急仮設住宅集会所 (郡山市富岡町若宮前32)		
安達太良応急仮設住宅第一集会所 (安達郡大玉村玉井字横堀平158-16)	7月14日(日)	午前11時～午後7時
緑ヶ丘東七丁目応急仮設住宅集会所 (郡山市緑ヶ丘東7-27-1)	7月15日(月)	
三春町運動公園談話室 (田村郡三春町大字貝山字泉沢100)	7月15日(月)～16日(火)	午前11時～午後7時
いわき建設会館三階会議室 (いわき市平字童子町4-18)	7月17日(水)～20日(土)	
泉玉露応急仮設住宅第二集会所 (いわき市泉玉露2-10-1)	7月19日(金)～20日(土)	午前11時～午後7時
平下高久応急仮設住宅集会所 (いわき市平下高久字下原178)	7月20日(土)	
福島県文化センター一階会議室 (福島市春日町5-54)		



## 投票所入場券

投票所入場券は7月4日(木)以降に郵送します。なお、投票所入場券を紛失、または入場券が届かないなどの理由により、入場券を持たずに投票所に来た場合でも、本人確認をしたらうえて投票できますので、投票所で受付に申し出てください。

## 候補者を紹介する選挙公報

候補者の経歴や政見を紹介する選挙公報は、町長選挙及び議会議員補欠選挙については、7月9日(火)以降、参議院通常選挙については7月13日(土)以降の発送を予定しています。

## 滞在地(避難先)での不在者投票

遠方に避難されている方は、滞在地(避難先)で不在者投票ができます。  
手続きが遅くなると投票することが出来ない場合がありますので、早めに不在者投票用紙の請求をしてください。

### ■請求・投票の流れ

#### ①投票用紙等を請求する

「選挙のお知らせ」に同封されている「不在者投票請求書」に必要事項を記入して、町選挙管理委員会に郵送してください。

※メールやFAXでの請求はできません。

注)不在者投票の誤請求を防ぐため、滞在地(避難先)が投票所設置市町村の方には「不在者投票請求書」を同封していません。必要な方は、町選挙管理委員会までご連絡ください。また、町ホームページからもダウンロードできます。



#### ②投票用紙を受け取る

郵送されてきた封筒(投票用紙、投票用封筒(内封筒と外封筒)、不在者投票証明書)を受け取ってください。

※投票用紙等は「開封厳禁」のラベルを貼った透明の封筒に入っていますので、絶対に開封しないでください。開封すると投票できなくなります。

※自宅等で投票用紙に記入しないでください。



#### ③滞在地(避難先)の市区町村で投票する

受け取った封筒を持参して滞在地(避難先)の市区町村選挙管理委員会にて投票してください。投票場所については、滞在地(避難先)市区町村の選挙管理委員会にご確認ください。

※不在者投票用紙を受け取った後に不在者投票をせず、期日前投票又は投票日に投票する場合は、受け取った不在者投票用紙等を投票所(期日前投票所)に返還しないと投票できませんのでご注意ください。

#### ▶不在者投票ができる期間

7月5日(金)～20日(土)  
午前8時30分～午後8時

※遠方の方は、19日(金)までに投票を済ませてください。

## 郵便による不在者投票

身体等に重度の障がいがある方は、自宅などから郵送で投票する不在者投票制度を利用できます。この制度を利用するには、町選挙管理委員会が交付する「郵便等投票証明書」が必要です。詳しくは町選挙管理委員会へお問い合わせください。

▼郵便で不在者投票ができる方

- ① 身体障害者手帳の交付を受けている方で、障がいの程度が次のいずれかに該当する方
- ② 戦傷病者手帳の交付を受けている方で、障がいの程度が次のいずれかに該当する方
- ③ 介護保険法上の要介護者で、介護保険の被保険者証に要介護状態区分が第3項症まで

## 指定病院(施設)における不在者投票

都道府県選挙管理委員会が指定した病院、老人ホーム等施設に入院(所)している方は、入院(所)している病院(施設)で、不在者投票をすることができ、病院長(施設長)に依頼してください。

## 送迎バスを運行します

7月21日(日)は、仮設住宅と投票所を結ぶ、送迎バスを運行します。  
時間や運行ルートは「選挙のお知らせ」または、町ホームページをご覧ください。

また、町ホームページからもご覧いただけます(町長選挙及び議会議員補欠選挙は7月5日(金)、参議院通常選挙は7月9日(火)掲載予定)。

に該当する方  
両下肢、体幹、移動機能の障がいの程度が1級もしくは2級  
心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障がいの程度が1級もしくは3級  
免疫機能障害の程度が1級から3級まで  
戦傷病者手帳の交付を受けている方で、障がいの程度が次のいずれかに該当する方

要介護「5」である者として記載されている方



## 平成26年度 富岡町成人式のご案内

### 会場

ベルヴィ郡山館  
福島県郡山市山根町8-7  
☎024-923-1165

### 日時

平成26年1月12日(日)  
受付12時30分～13時20分  
式典・懇親会等  
13時30分～16時

### 対象者

平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの富岡町に住所を有する方及び富岡町立中学校卒業生

## 帰還困難区域への 立入りについて

帰還困難区域へ立入る際は、通行証が必要です。3月に各世帯へ配付した、立入り証(青色のラミネート加工されたもの)では、帰還困難区域へ立入りを行うことはできませんのでご注意ください。

また、区域見直しの当初は、猛暑時期に当たる「8月の一時立入り」を実施しないこととしておりましたが、「お盆時期の一時立入り」として特別に実施します。詳しくは、同封の「お盆参りを目的とする帰還困難区域等への立入りについて」及び立入りコールセンターからの案内紙をご覧ください。

### 生活支援課 避難生活支援係

## 夜間パトロール警備員を 募集します

町では、皆さんの大切な財産を守るため、富岡町内の夜間巡回業務を福島総合警備保障(株)に委託しています。福島総合警備保障(株)では、富岡町民を対象に夜間巡回を行う警

▼その他  
対象の方には11月中旬に案内文書を送付します(11月末までに届かない場合は、ご連絡をお願いいたします)。  
会場における着付け・美容等につきましては、直接ベルヴィ郡山館にお問合せください。

### 富岡町教育委員会 教育総務課

## 国民健康保険・後期高齢者医療 限度額適用・標準負担額減額認定の更新手続きについて

限度額適用・標準負担額減額認定証(以下、認定証)は住民税非課税世帯の方が入院する際に、入院時食事療養費および入院時生活療養費が減額となる認定証です(一部負担金は平成26年2月28日まで免除)。  
現在交付されている認定証の有効期限は、7月末日となっております。認定証をお持ちの方で、8月以降も引き続き入院される方は更新手続き

が必要となります。  
▼手続き方法  
住民課国保年金係までご連絡ください。申請書を送付します。町ホームページ

【災害版】申請書ダウンロードの「国保・年金」からダウンロードすることもできます。  
※認定証は申請のあった月の1日からの発効期日となりますので早めの申請をお願いします。

### 国保課 国保年金係

## 自宅でのごみやがれきの 取扱について

富岡町内のご自宅等の片付けで発生したごみや、廃棄せざるを得なくなった家財類、損壊した家屋・塀などの破片は、町から案内があるまで各家庭での一時保管をお願いいたします。

なお、一時保管の際は、ごみの種類ごとに分別してください。詳しい分別方法につ

## 双葉農業普及所 からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さまに必要な情報(農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)を分かりやすくご説明するため、毎月県内5カ所に、相談窓口を設置しています。最寄りの窓口にお気軽にお越しください。

☎0246-24-6044

開催日	開催地区	開催場所	開催時間
7月11日(木)	二本松市	浪江町役場二本松事務所 二本松市北トロミ573番地	10:00~ 15:00
7月12日(金)	会津若松市	大熊町役場会津若松出張所産業建設課内	
7月18日(木)	いわき市	いわき明星大学学生会館2階	
7月19日(金)	三春町	三春山多目的運動公園管理棟	
7月25日(木)	郡山市	郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所	
7月25日(木)	会津若松市	大熊町役場会津若松出張所産業建設課内	
7月26日(金)	二本松市	浪江町役場二本松事務所 二本松市北トロミ573番地	

## 熊耳夏祭り復興盆踊りを開催します

伝統行事として長年開催されていた小浜盆踊りが、富岡町小浜青年会と小浜鼓友会により三春町熊耳仮設住宅で開催されることになりました。盆踊り会場には、食べ物コーナーや子ども広場などを用意しますので、行政区を問わず多くの皆さまのご来場をお待ちしております。富岡町の復興を願いながら、真夏の夜の盆踊りを楽しみましょう。

日時：8月10日(土)16時～20時  
場所：熊耳応急仮設住宅駐車場  
田村郡三春町熊耳字南原31-2

※開催場所が仮設住宅のため、駐車場に限りがあります。  
乗合でのご来場にご協力をお願いします。

主催：富岡町熊耳仮設住宅自治会  
共催：富岡町小浜行政区・富岡町小浜青年会  
後援：富岡町・福島県共同募金会  
協賛：小浜第二区財産区・おだがいさまセンター・高齢者サポートセンター花見処さくら・ビーンズふくしま・渡部土木(株) 他

☎ 熊耳仮設自治会長・小浜行政区区長  
松本 政喜 ☎090-5233-3497



ましては、3月15日に配布しました「富岡町への立入りのしおり」17ページ「4.ごみの取り扱いについて」をご確認ください。

現在、環境省が仮置場等の調整を行っております。皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 生活環境課 環境衛生係

## 原発事故に伴う国民年金 保険料の免除について

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、避難指示・屋内退避指示を受けた市町村に平成23年3月11日時点で住所を有していた方は、ご本人からの申請に基づき国民年金保険料が全額免除になります(免除された期間の年金給付は、満額給付に対して2分の1で計算されます)。

保険料免除措置は平成25年6月末で終了となっておりますが、平成25年7月分から

平成26年6月分までの保険料も免除対象となりました。申請受付期間は平成25年7月1日から平成26年6月30日までです。

免除を申請される方は、国民年金保険料免除・納付猶予申請書の提出が必要です。また、保険料免除が平成25年6月分まで承認されている方で、平成25年7月以降も免除を希望される方は、再度申請が必要となります。

申請手続きは、富岡町役場郡山事務所国保年金係(各出張所)窓口や郵送での手続き、お近くの年金事務所での手続きも可能です。

※本年度の学生納付特例申請の受付は平成26年3月末までです(対象保険料は平成25年4月分から平成26年3月分までとなっています)。

### 国保課 国保年金係 またはお近くの年金事務所



沖 兵仁さん (王塚)  
TOMIOKA 桜(さくら)通信



一昨年3月11日、王塚行政区の副区長を務めていた私は、午後から地区の集会所で、当時の行政区長と共に広報紙など役場からの配布物の振り分け作業を行っていました。地震のために手を止め外に出て周りを見渡すと、あちこちから屋根瓦が落下したための土煙りが上がっていました。揺れがおさまり帰宅すると、我が家では家財が散乱したものの、自宅内にいた妻は無事でした。

翌朝からの避難で、娘親子とともに川内村に向かう途中、給油のために立ち寄った田村市都路町のガソリンスタンドで、何も食べてない自分たちを気遣った店員の方からおにぎりを頂いたことを今でも忘れることはありません。その後、川内村内の避難所に入りましたが、ヨウ素剤が配布されたり、テレビで原発が爆発した様子を見て、しばらく戻ることができないと感じ、更なる避難を決め、県内の避難所を経て小山駅から新幹線で東京に向かいましたが、私たちはまるで難民姿で、一般の乗客との温度差のようなものを感じました。

東京では、当初、孫が通う大学関係者のご厚意により賃貸マンションを提供していただき、しばらくお世話になりましたが、現在、娘一家と私たち夫婦は、それぞれ国分寺市で生活しています。

私たち夫婦は、私の定年退職後、娘一家の生活する富岡町に静岡県から移り住みました。娘たちが富岡で生活するようになって以来、何度も富岡を訪ねるうち「水田が広がり蛙の鳴き声が聞こえる」富岡を気に入ってしまい移住しました。移住後、地縁血縁の無い私たちを町民の皆さんは快く自然に受け入れてくださり、平成25年4月からは区長をさせ

ていただくなど、すっかり富岡町民になれたのかなと思います。震災前、妻は各種生涯学習講座やサークルなどに通い、私はさくらスポーツクラブやゴルフ場通いの日々を送っていました。娘はそうした姿を「今日も迎えの来ないデイサービスに行った」と言っていたそうです。

現在、国分寺市当局をはじめ周囲の皆さんからのご支援を受け暮らしています。当地では夫婦共々、グラウンド・ゴルフ協会に参加させていただき、プレーだけではなく、協会の会員としてゴルフ場の管理や各種折衝などにも携わっています。そしてこの春、同協会の役員改選にあたって声がかかり、役不足かとは思いますが、娘の結婚が縁で住み始めた富岡町は、私たち夫婦にとって大切な故郷です。

# TOMIOKA 桜通信

第15号

東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」では、避難生活を続ける皆さんのもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



まちの思い出



まちの思い出



### 遠藤 絹子さん (仲町)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



私は、富岡町社会福祉協議会の職員として、郡山市富田町若宮前応急仮設住宅内にあるおだがいさまセンターに勤務しています。

一昨年4月初旬、社協の業務は避難所のビッグパレットふくしまを中心に行われており、避難所内での生活支援と並行して「おだがいさまセンター」の立ち上げ準備が始まりました。全てが初めてのことであったため、県内外からの応援スタッフや避難

生活をしている住民の皆さんからいろいろと教えていただき、業務をこなすことに無我夢中の日々でした。

避難生活が続く中、お世話になっっている避難所へ恩返しを行うため、ビッグパレットふくしま周辺の除草作業を行うことになりました。避難所にいる皆さんに声をかけたところ、開始予定時刻の30分以上前から大勢の人が集まり始めました。参加してくださった皆さんは、長期に及ぶ避難所生活の苦勞を吹き飛ばすかのように、生き生きとした様子で草むしりをしていました。その姿に「生きがい」や「やりがい」がいかに大切かという事を、理屈ではなく肌で感じました。

その後、町民農園の立ち上げと運営にも携わりました。当初は農業高校のご協力により実習農園の一部をお借りし、定期的にバスで訪れ農作業を行っていましたが、ビッグパレットふくしまの閉鎖後は、おだがいさまセンターがある富田町若宮前

急仮設住宅付近の地元の農業委員のご協力により、農地をお借りする事ができました。同時に農機メーカーから支援を受けて環境整備を行い、区画貸し方式による町民農園がスタートしました。畑を借りて作業している皆さんは、農作業の近況報告や収穫を迎えた野菜類をおすそ分けしてくださるなど、当センターに立ち寄ってくださいます。

「先も見えずに生きていた日々」から「生活する日々」に変わっていく皆さんの姿を目の当たりにする度に、おだがいさまセンターの目標である「生きがいと居場所をつくろう」の意義を感じています。

これからも皆さんに寄り添いながら、自立へのお手伝いをしたいこうと自覚する日々です。

震災までは、夫の両親、夫、子3人の7人家族。現在、長男の学校の都合もあり夫の両親と長男がいわき市内、本人夫婦と長女・次男が郡山市内とに分かれて借上住宅で生活している。結婚により当町で暮らすようになった。宮城県気仙沼市出身。



### 猪狩 レイ子さん (下千里)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



私が代表をさせていただいている地場産品製造販売グループ「ひまわり会」は、平成14年、下千里婦人学級の参加者などメンバー20人で活動を始めました。メンバーは全て「農家のかあちゃん」で、設立当初は余剰農産物を直売所で販売したり、それらの農産物を利用して総菜などの製造販売をしていました。おかげ様で品物の評判を得るようになり、公的融資制度を利用した設備投資を行い、直売所での販売にとどまらず、各種イベントで出されるまとまった数の弁当や、

葬祭場の仕出料理の注文をいただくまでになりました。

私たちのような活動は、第一次産業である農業、第二次産業である食品製造業、第三次産業である販売などのサービス業のそれぞれの次数を掛けて「第6次産業」などと呼ばれ、世間からも注目されるようになっていました。

平成23年1月に開催した総会では、設備投資の借入金返済が平成22年で全て終わったことを報告することができ、これからは頑張った分を、より多くメンバーに還元できるようになったと喜び合った矢先、発足10年を待たずしての被災となり、常時活動に参加していた私を含むメンバー15人は、現在いわき市をはじめ県内各地バラバラに避難している状態です。

いわき市への避難後、私は散歩中に見つけた近所の耕作放棄地を借り畑作を始め、一昨年には生活する借上住宅の庭にあった物置を改造して調理場を造りました。保健所の許可を取り、被災前のようにはいかなくいまでも、ひまわり会で培った経験を生かし一人で加工品製造を再開し、量は少ないものの市内草木台の直売所

「いなかんぼ」で販売しています。また、概ね月に一度、大玉村の富岡えびす市場に向いて調理を行い、かぼちゃ饅頭をはじめ、震災前まで親しんでいた味の皆さんにご提供しております。また、いわき桜まつりで商工会が行った振舞いや、三春の祭りで披露された麓山神社の神楽の際に使われる投げ餅づくりなどの依頼を受けたりしました。

原発事故の避難で、初めの頃、私たちの活動「第6次産業」は、最初の「1」（＝農業「第一次産業」）を失い0（ゼロ）のため、その後続く2と3を掛けても「0」と諦めかけたこともありましたが、加工・販売のノウハウだけは、私たちの手の中にあり、失っていません。しばらくは、「0（農業）+2（製造）×3（販売）＝6」で頑張っていきたいと思えます。

避難指示を受け、県内外の親類宅を経て、現在、家族とともにいわき市内の借上住宅で生活している。田舎のかあちゃんならではの総菜造りの傍ら、いわき市内の借上住宅で生活する避難町民の自治会「さくらの会」の発足に関わり、現在、同会の会計もつとめている。



震災から半年程たつてようやく住居が見つかり、避難先の秋田県内からいわき市に移りました。知り合いも無く淋しい日々でしたが、新設された泉玉露仮設住宅に友人が住むようになり、それが縁で同仮設で開かれたカフェやレクリエーションにボランティアで参加し、これらの交流が私にとって大きな心の救いになりました。

昨年の初め頃からは、いわき市平に開設される避難町民向けサロンの運営に携わるようになりました。か

つての自分のように孤立している人が一人でも元気な日々を送れるようになればと賛同しました。しかし、その年の4月に大病を患い、サロンの立ち上げも無理かと諦めていました。幸い術後の経過も順調で、無理はできないまでも同年9月から本格的な準備作業に入り、スタッフ一同で奮起奮闘し同10月、オープンの日を迎えました。現在は6人でローテーションを組んで運営にあたっています。

オープン当初は、突然の避難により強いられてしまった辛く、悔しく、悲しい思いを涙ながらに語られる方も多くおりました。サロンで思いがけず久しぶりに再会し、同じような経験をした者同士、思いを共有し涙される方もいます。お帰りの際「ここに来て本当に良かった」と言ってもらえたのは、大変うれしく心強いことでした。

また、震災まで、私は町の図書館で司書をしていましたので、図書館の利用者の方と再会したり、震災により返せなくなった本についての相談を受けることもありました。

開所から約10ヶ月経ち、ぶらっ

布ぞうり作りの様子



清水章子さん



と気軽に立ち寄れる場としての他、皆さんの要望を聞きながら、毎月、各種講座や行事を企画し運営しています。



震災後二年以上が過ぎ、当時の様子を思い出したくない、忘れることができない、人それぞれの思いがあると思います。

私のように、農業者として土と向き合い生きてきた者にとって、原発事故によりその「土(＝農地)」を奪われたことは、何よりつらいことでした。特に富岡町は、今でこそ広く行われるようになった有機農業をはじめとする環境保全・調和型農業、農業機械設備等の共同利用事業など、集落・集団による農業の効率化に早い

時期から積極的に取り組んできました。私もそうした取り組みに参加し、町の農業委員や、平成22年からはJAふたばの生産部会「有機特別栽培研究会」の会長などの役職にも就かせていただいています。

震災後、町内で農業を再開できない状態が続いていますが、各種調査研究が進み、復興に向けた一つの方向性が見え始めた段階に入ったと思っています。特に、細かい汚染状況の把握、除染や放射線の吸収を抑え農作物を栽培する方法が考案され、昨年からは町内でも試験栽培が行われるようになり、今年は下郡山区の試験ほ場で米づくりがスタートしました。困難な状況が続く中で大きな一歩です。

震災直後、何もすることがない、何もできないといった空しい時を過ごすことしかできませんでした。一歩踏み出さずして将来も無いと気持ち切り替え、かつて取得した資格を生かした職に就くことができました。一方で、避難により地域住民がバラバラになってしまったため、行政区内の組織のひとつ「坊小屋納税貯蓄組合」を解散するとの連絡があり、故郷の



多くの人に懐かしんでもらいたいといわき平交流サロンに展示中

影が薄れていくように感じました。一時帰宅をした際、王塚神社の神楽舞を撮った写真(写真左)を持つてきました。震災当日、氏子総代の皆さんが翌日の祀りの準備を進めていたところでした。この写真を見る度に、地域それぞれで伝承され受け継がれてきたもの、そして地域の繋がりが、故郷で息を吹き返す日が来ることを願っています。

避難後、慣れない環境に戸惑い悩んだこともあったが、環境が変わっても、何か自分なりの役割があるのではと自分自身を見つめ直し、周囲の応援を受けながら今日に至る。「食べ物を作る場所だから人が住める」それをモットーに故郷の復興に向け活動が続ける。

# 溢れる笑顔、スポーツで身も心もリフレッシュ 「さくらスポーツフェスタ in 三春」

NPO法人さくらスポーツクラブ主催による「さくらスポーツフェスタ in 三春」が6月2日、三春町運動公園で行われました。

開会式では同スポーツクラブの堀川章仁会長が「長引く避難生活が続いていますが、町民の皆様には心も身体も健康であってほしいと願っています」とあいさつ。参加者の皆さんはグラウンド・ゴルフやウォーキング、ラージボール卓球などにチャレンジしながら楽しい一日を過ごしました。

また、この日はいわき短期大学の学生が運営スタッフに加わり、参加者と交流を深めました。



私たちのお医者さん

## こんにちは。 大玉仮設診療所です！



### 第4回 「梅雨時こそ熱中症に注意」

佐藤 正憲 医師(さくらクリニック)



**7** 月になり梅雨に入りました。梅雨前に比べて気温の低い日や雨の日が多くなりますが、熱中症が起こりやすい時期ですので注意しましょう。

熱中症は、高温・多湿の環境のもとで体内に熱が溜まり、体温調節ができなくなると体温が異常に上昇して発症します。気温がさほど高くなくても雨の日のように湿度が高いと汗をかきにくくなり、体内の熱を散发できなくなるために起こります。熱中症が起こると、頭痛・吐き気・めまい・寒気・脱力感など様々な症状が出現しますが、重症になると意識不明・けいれんなどを起こし最終的には死に至ります。重症な熱中症では30%以上の死亡率が報告されています。

熱中症による死亡事故のうち、8割が65歳以上の高齢者です。高齢になるに連れて、皮膚の温度感覚が鈍くなると高温に気付くのが遅れることや、脱水が進んでも喉の渇きを感じにくくなるのが理由と思われるかもしれません。また、熱中症の約半数は自宅内で発生しています。密閉性が高い・

風通しが悪いなどで熱がこもりやすい、高温になりやすい建物では、さらに注意が必要です。

熱中症は、適切に予防すれば防ぐことが可能です。予防としては、日常生活での心構えが重要です。まずはできるだけ通気性・吸湿性のよい薄着をして、屋外では帽子をかぶりましょう。次に水分・塩分(スポーツドリンクなど)のこまめな補給を心がけましょう。畑仕事などでは、うちわや濡れタオル・冷たい缶ジュースなどで身体の冷却に努め、日陰などの涼しい場所で休憩を十分にとりましょう。その他、過剰なアルコール摂取は避ける、食欲不振に気をつける、脱水にならないようにする、睡眠を十分とるなどして普段から体調管理に気をつけましょう。

熱中症が疑われたら、スポーツドリンクなどを摂取し水分・塩分を補給すること、水枕や氷嚢、霧吹きなどで体温を冷却することが重要ですが、重症の場合、死亡に至ることもありますので、意識がもうろうとしている場合は、救急車を呼ぶなどして、直ちに医療機関を受診しましょう。

診療科目：内科・外科・歯科  
診療場所：大玉仮設診療所  
大玉村玉井字横堀平158-10  
受付時間：午前8時30分～11時30分  
午後1時～4時

#### 診療日

曜日	診療科目	担当医師	備考
月	内科・外科	佐藤正憲	午後3時まで
火	歯科	新妻学	
水	歯科	新妻学	
木	内科・外科	井坂晶	
金	内科	堀川章仁	

☎ 0243-48-4710



## 地域の寺子屋推進事業

### 「仮設住宅における寺子屋」で子どもと高齢者が楽しい時間を共有



本の読み聞かせに笑顔を見せる子どもたち

福島県老人クラブ連合会主催による「仮設住宅における寺子屋」が5月21日、郡山市富田町若宮前応急仮設住宅内とみたさくら保育施設で行われました。

この事業は、健康体操や伝承あそびを通し、子どもと高齢者にふれあいの場を持ってもらおうと県内各所で行われているもので、桜の聖母短期大学講師の岡田麻紀さんとともに楽しい時間を過ごしました。

## 富岡小学校三春校でふるさと教育「地域の人と触れ合おう」を開催

富岡小学校三春校で6月14日、ふるさと教育の一環である「地域の人と触れ合おう」が行われました。

この教室は、児童が様々な分野で活動する富岡町民とふれあい、ふるさと富岡を忘れない気持ちを育ててほしいとの思いから行われているもので、今回は町体育協会の佐藤勝夫事務局長が児童たちへメッセージを送りました。

児童たちは富岡町に関する話や「今、苦しい時を過ごしているが、それを乗り越えれば必ず楽しいことが待っている」という言葉に真剣な表情で聞き入り、最後に音楽に合わせた軽体操を行い、先生方とともに楽しく汗を流しました。



椅子に座ってのリズミカルな体操を行う児童

## これからも古里のため、人びとのために 富岡町婦人消防隊総会



今後の活動について話し合いが持たれた総会

震災後初となる富岡町婦人消防隊の総会が5月25日、いわき四倉交流サロンで行われました。

会議の冒頭、遠藤町長が「5月に富岡町消防団が3年ぶりの検閲を行った。婦人消防隊の皆さんがその団結の輪に加わることで、町の防犯防火体制も強化される。隊員の皆様には、消防人としての誇りを胸に、富岡町のため今後一層のご協力をお願いしたい」と挨拶。そのあと、隊の存続や役割等について話し合いが行われ、今後も仮設住宅の見回りなど、富岡町消防団と連携しながらの活動継続を確認し合いました。

## 小泉進次郎自民党青年局長らが絆カフェを訪問 原子力災害の現状について町民と意見交換



真剣な表情で町民の意見を聞く小泉議員(右)

自民党青年局長の小泉進次郎衆議員議員ら若手国会議員が6月11日、郡山市のふくしま絆カフェ富岡を訪れ、原発事故後の現状と国の対応などについて町民と意見交換を行いました。

今回の訪問は、同青年局の被災地訪問事業である「TEAM-11(チームイレブン)」の一環で行われた只見線豪雨被害の視察に合わせて急ぎよ決定したもので、郡山市内に住む町民約20人が小泉議員らと懇談。「富岡町の状況はどんどん酷くなっているが、復興に向けた状況は何も変わらない。国にはしっかりと生活支援をお願いしたい」と現状を訴えました。

町民との話し合いを終えた小泉議員は「復興に向けた進捗状況を住民に伝えるために、国や県、そして町自治体からのきめ細やかな情報発信が必要だ。また、住民との対話が大事であり、そうした声を政府に届けるために、今後さらに福島県の地方議員の方々と連携し、意見交換の場を増やしていきたい」と語りました。

## ジャニーズ事務所から富岡小中学校三春校へスクールバスを寄贈

ジャニーズ事務所による東日本大震災復興プロジェクト「Marching J(代表・近藤真彦氏)」から、富岡町にマイクロバスが寄贈されました。

この支援プロジェクトは、震災直後の平成23年3月18日に、コンサート会場で使用予定だった電源車を被災地に向け派遣したことをきっかけにスタートしたもので、被災地の復興を願い、「明日に向かって前進(マーチ)していく」という気持ちから福島・宮城・岩手の3県で被災した子供たちへ善意が贈られました。

今回の寄贈には、ジャニーズ所属タレントによるコンサートで集まった募金やチャリティーグッズの売り上げ金があてられ、本町に贈られたマイクロバスは、富岡小学校三春校のスクールバスとして運用されます。



お礼のメッセージを掲げる富岡小学校児童の皆さん

# 町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日:平成25年6月10日(晴れ/くもり)~11日(晴れ)

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm	No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
1	下千里消防屯所	6/10	3.48	5.08	37	小浜住宅団地内公園前	6/11	4.29	6.99
2	上千里消防屯所	6/11	2.18	2.81	38	双葉環境センター	6/11	2.70	5.78
3	杉内消防屯所	6/11	2.58	3.86	39	NHK電波塔入口(浜街道)	6/11	4.66	6.88
4	第二工業団地入口	6/11	4.28	3.96	40	深谷集会所	6/10	6.19	7.05
5	高津戸集会所	6/10	5.96	8.46	41	赤坂神社前	6/10	6.97	8.99
6	富岡第二中学校東側	6/10	2.25	3.10	42	太平洋フリーディング前	6/10	13.70	21.30
7	新夜ノ森集会所	6/10	7.09	9.18	43	みよし前交差点	6/10	10.60	22.70
8	夜の森公園	6/10	3.43	6.43	44	富岡自動車学校前	6/10	7.21	11.60
9	松の前待避所	6/10	10.80	13.00	45	リフレ富岡	6/10	4.46	5.64
10	小良ヶ浜集会所	6/10	6.72	8.22	46	東洋育成園前	6/11	4.68	6.93
11	町境(小良ヶ浜地区)	6/10	8.30	20.40	47	富岡インター駐車場	6/11	4.47	5.52
12	深谷消防屯所	6/10	6.92	7.11	48	上手岡児童館	6/10	3.17	4.12
13	富岡町営野球場	6/11	1.12	0.88	49	下千里ライスセンター前	6/10	3.62	5.65
14	観陽亭前	6/11	1.42	2.59	50	館山荘前	6/10	4.00	5.39
15	富岡合同庁舎西側	6/11	3.38	3.95	51	夜の森つつみ公園	6/10	5.13	4.98
16	富岡養護学校	6/11	3.82	8.45	52	総合運動場東側駐車場	6/10	5.48	7.89
17	老人福祉センター	6/10	7.54	13.20	53	華の樹前	6/10	6.29	8.04
18	夜ノ森駅	6/10	7.13	8.58	54	宝泉寺前	6/10	3.84	8.88
19	王塚集会所	6/10	6.03	7.98	55	国道6号第二原発入口前	6/11	1.43	2.10
20	諏訪神社前	6/10	3.80	4.32	56	猪狩スタンド前	6/11	1.64	2.52
21	上本町消防屯所	6/10	3.87	4.50	57	なべや駐車場前	6/10	1.38	3.00
22	上本町集会所	6/10	2.84	3.71	58	大東銀行富岡支店前	6/10	2.83	3.76
23	リベラルヒルズ入口	6/11	3.07	4.93	59	富岡漁港	6/11	0.67	0.72
24	赤木集会所	6/11	2.52	4.34	60	サンライズイン富岡前	6/11	1.19	2.37
25	上郡山集会所	6/11	1.97	2.48	61	福島富岡簡易裁判所前	6/11	2.79	4.33
26	太田集会所	6/11	1.28	1.65	62	ヨークベニマル富岡店前	6/11	2.55	3.79
27	原下消防屯所	6/10	1.50	2.17	63	今村病院前	6/10	5.30	10.20
28	富岡駅	6/11	0.89	2.12	64	福島銀行富岡支店前	6/10	2.50	4.60
29	清水消防屯所	6/11	2.33	4.48	65	龍台寺前	6/11	2.71	5.15
30	役場	6/10	2.30	6.15	66	清水団地前	6/11	2.75	4.12
31	浄化センター	6/11	1.01	1.47	67	猪狩電気通信工業前	6/11	2.58	3.92
32	毛萱集会場	6/11	0.58	0.48	68	上郡消防屯所	6/11	2.48	4.07
33	富岡保育所	6/11	2.38	3.70	69	岩井戸鉱泉	6/11	1.46	1.89
34	中央児童館	6/10	2.69	4.38	70	富岡工業団地	6/11	1.89	1.92
35	栄町駐車場	6/11	2.13	3.19	71	成沢の滝入口	6/11	1.66	2.49
36	岩井戸消防屯所	6/11	1.86	2.31	72	沼名子橋	6/10	2.94	4.62

測定器:γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

## アリスが復興支援ライブ 聴衆に希望と元気を届ける



歌で元気を届けたアリスの3人

1970~80年代に多くのヒット曲を生み出したアリスのメンバー3人が6月14日、郡山市南一丁目仮設住宅内特設ステージで復興支援ライブを行いました。

今回のライブは、翌15日に郡山市民文化センターで開催されたコンサートに合わせて行われたもので、リーダーの谷村新司さんは「借り上げ住宅や仮設住宅での生活が長引き、まだまだ先が見えない状況が続いているが、皆さんがいつか古里へ帰れるその日まで元気でいられるよう、音楽で応援して行きたい」とメッセージを送り、堀内孝雄さん、矢沢透さんとともに「冬の稲妻」や「遠くで汽笛を聞きながら」など数々の名曲を披露し、会場に集まった約400人の聴衆を魅了していました。



## 東京都東雲住宅で住民団体設立へ 町民同士のコミュニティ構築をめざす

東京都江東区東雲住宅在住の富岡町民による住民団体設立に向けての会合が6月8日、同住宅の集会室において行われました。

東雲住宅には、相双地区などから避難された多くの住民が入居していますが、これまで富岡町民による住民会組織が無かったことから、今回町民有志が設立を働きかけ、話し合いを行ったものです。

会合では、発起人代表の高橋佑治さんが「町との情報共有や住民者間の交流やネットワークの再構築を図りたい」と設立の趣旨を説明。その後、出席者による意見交換が行われ、住民団体の設立と役員を選任(団体名称及び役職については役員会に一任)が了承されました。



設立趣旨を説明する高橋佑治さん(中央)

決定事項は次のとおりです(個人名敬称略)

- ・名称 「東雲富岡の会」
- ・代表 高橋 佑治 ・副代表 佐藤 敦
- ・役員 小林 匡、二股 公子、幾橋 千秋  
杉本ひとみ、清田 芳江、瀬戸みどり  
阿部 康子



## 「青空の下で楽しく交歓会」 写真提供 三瓶一義さん(仲町)



福島市及び県北地区在住富岡町民自治会と、福島大学災害ボランティアセンターの共催による交歓会が5月12日、福島市「四季の里」で開かれ、初夏の青空の下で町民と福大生が交流を深めました。

## 「国宝・白水阿弥陀堂(いわき市内郷)」 写真提供 黒須次郎さん(仲町)



広大な日本庭園の中にたたずむ「国宝・白水阿弥陀堂」です。周辺には蓮やアヤメなど四季折々の花が咲き、大きな鯉が泳ぐ池のほとりでは、日向ぼっこをする亀たちの姿も見られます。

— 今月の表紙：「ボールを使ってのびのびと」 —

富岡小学校三春校のふるさと教育。全校児童が集い、講師の先生から富岡町の話聞いたあとは楽しい軽体操が行われ、教室に軽快な音楽と子どもたちの笑顔があふれました。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

